



16年ぶりに長野県ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 須坂市で開催!!

▲小雨混じりの天候の中、県内13協会の消防団と招待した県外のラッパ隊が須坂市に集結し、日頃の訓練の成果を発揮しました。



さくら

2009 10
(平成21年)

須坂市消防団広報紙

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

平成21年度
長野県ポンプ操法・ラッパ吹奏大会結果

順位	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	ラッパ吹奏
優勝	上田市	上田市	中野市
準優勝	茅野市	阿智村	辰野町
3位	箕輪町	諏訪市	上田市
4位	松川町	長野市	阿智村
5位	中野市	麻績村	安曇野市
6位	上松町	白馬村	茅野市
7位	白馬村	小海町	長野市
8位	佐久市	佐久市	上松町
9位	千曲市	南箕輪村	小諸市
10位	信濃町	千曲市	大田市
11位	川上村	小布施町	佐久穂町
12位	塩尻市	飯山市	高山村
13位	—	王滝村	千曲市

〔消防団ラッパ隊広域交流会出場チーム〕

- 長野県須坂市消防団
- 富山県南砺市消防団
- 群馬県中之条町消防団
- 愛知県新城市消防団

去る八月二日、長野県消防協会主催による第五十一回ポンプ操法大会及び、第十八回ラッパ吹奏大会が、県民運動広場と須坂市野球場において開催されました。この大会は、県消防協会の最大の行事であり、消防団員の技術向上を目的に、毎年開催地を変えなが

ら行われております。当日は生憎の小雨の降る天気ではありましたが、消防団員と多くの観客の熱気で活気に満ちていました。一千台を越す車、三千人を超える人、何十台と並ぶビデオカメラの放列。他県からも八団以上の消防団が見学を訪れ、全国大会並だと驚いていました。須坂市消防団は須高の輪番制の為、今回大会に出場しませんでした。特別開催された、他県ラッパ隊三隊を招いたの交流会に県代表としてラッパ吹奏を行いました。地元の皆様には、交通規制や交通渋滞で御迷惑をおかけしましたが、皆様の温かい御協力に感謝申し上げます。



須坂市消防団長
よだ ひろあき
依田 浩明

地区大会を勝ちぬいた
13協会の代表チームが
優勝旗をかけて争う

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時ににおける消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」そんな思いで活動している人間の集まりです。



▲分団対抗ソフトボール大会（9月27日）
消防団員の親睦を図るため、北部グラウンドでソフトボール大会を開催しました。



▼合同ダイヤモンド婚・金婚式典（9月21日）
メセナホールで行われ、アトラクションで音楽隊が演奏しました。



▲山林火災防ぎょ訓練（4月19日）：本郷町の山林で消防署と合同で放水訓練など行いました。



▼水防工法実技講習会（5月17日）：小布施町山王島千曲川グラウンドで土のう作りや月の輪工法などを行いました。



▲分団長会視察研修（4月12～13日）：岐阜県神戸町で消防団の活動について意見交換を行いました。



▲市消防技術大会（6月14日）：小型ポンプ操法とラッパ吹奏を須坂小学校グラウンドで行い、団員たちが日頃の訓練の成果を発揮しました（小型ポンプ操法の部で8分団、ラッパ吹奏の部で11分団が優勝しました。また、優勝した2チームは須高消防協会ポンプ操法及びラッパ吹奏大会にも出場し、ダブル優勝を達成しました）



写真で見る 消防団の活動 4月～9月



▲市総合防災訓練（8月23日）：墨坂中学校グラウンドで行われ、シート張り工法や放水訓練などを行いました。



▲ラッパパレード（4月19日）：満開の桜の下、各分団のラッパ手などが集まり11分団（豊丘地区）管内でラッパを響かせ、予防消防を呼びかけました。

消防団音楽隊

第25回 定期演奏会

とき 11月8日(日)

ところ メセナホール

開演 午後5時（4時会場）※チャリティー

【演奏曲目】

- ・愛のままで
- ・LOVE
- ・天地人～オープニングテーマ～
- ・ROOKIESコレクション
- ・手紙～拝啓 十五の君へ～
- ・三木たかしヒットメドレー
- ・YOSAKOIソーラン節 ほか

※長野県消防ラッパ吹奏大会8連覇中の須坂市消防団ラッパ隊の演奏もご期待ください。

皆様に楽しんでいただける演奏会を目指して、隊員一同がんばって訓練を重ねておりますので、大勢のご来場を心よりお待ちしております。



音楽隊長 たきざわ まなぶ 滝澤 学

設置しましたか？ 住宅用火災警報器！！

～平成21年6月1日からすべての住宅において設置が義務化となっています！～

本年3月、須坂市消防本部管内において、住宅用火災警報器が鳴動し早期発見に至り、建物を焼損することなく、ガステーブルの損害のみで済みました。

設置がお済でない方は、火災から「生命」「財産」を守るためにも設置をお願いします。

早期発見
早期避難に
有効です！



問合せ 須坂市消防本部 予防課
電話 (026)245-4200

8月23日に河川功労者表彰を受賞

前消防団長 塩崎 貞夫



このたびの受賞については、特に平成16年、18年と二度にわたり千曲川が大増水をし、土が緩んだ堤防はあわや決壊、ということも危惧されたわけですが、

消防団員諸君が正業である職を休んで、地域を守るため危険も顧みず懸命な水防作業によって、最悪な事態を回避できました。大変なご負担を掛けましたが、このこともあり受賞できたものと思っていますし、治水工事も着々と進んでいます。改めて心から感謝を申し上げます。

これを期に、消防団の皆様には依田団長のもと更なる訓練に励み、地域密着の消防団として、その使命を充分発揮していただくようご期待を申し上げます。

消防団員の声



第3分団 (分団長) なかむら きみひこ 中村 公彦

「仲間と経験は大きな財産」

入団して二十二年目が過ぎようとしています。この二十二年間で様々な経験をする事ができました。その中で記憶に残っているのは、消火活動をしてクタクタな時に地元の方々が作って下さった炊き出しです。この時に消防団の必要性を強く感じると共に、地域のみなさんに支えられているという事を実感しました。また、火災は昼夜を問わず発生しますが、迅速に駆けつけ、一緒に現場での活動に頑張る仲間たちを見て、本当に素晴らしい仲間と出会えたと思っ



第11分団 (分団ラッパ長) やまざし よしのり 山岸 由典

退団にあたって

分団ラッパ長に任命され、はや四年の月日が流れました。ラッパ吹奏を通じて予防消防や啓蒙活動が出来ればと、自分なりに一生懸命活動した四年間だったと思います。

個人的には、県大会八連覇に微力ながら協力出来た事や、日本武道館や東京ビックサイトでのラッパ吹奏等々、貴重な経験が出来た事が印象に残っています。

十二月をもって退団となりますが、消防団員として経験してきた事を忘れずに、いち市民・いちOBとして、協力出来たらと思います。

長い間、ありがとうございます。



第9分団 (1部長) こまつ しんいち 駒津 真一

消防団活動について

消防団は、郷土愛護の精神に基づいて有志により組織されている市町村の機関であり、その団員は、日常はそれぞれの職業をもちながら、水火災などの災害が起こったときに招集されて消防活動に従事するといった事の他に各種訓練、各種イベント、大会などの活動もしております。

活動以外に消防団という組織の中で学ぶことは沢山あります。組織の中の立場、協調性、人と人のコミュニケーションなど住んでいる街、働いている企業でも活かせる事が沢山あります。また多種多様な職業の人が在団していることで色々な情報交換、そして何より消防団活動を通して生涯の仲間ができます。時には辛いこと苦しいこともありませんが、支えあい力を合わせ乗り越えていける仲間ができます。そんな仲間をつくる事ができる素晴らしい組織です。

須坂市消防団 ☆ 団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか！きっとかけがえのない仲間ができるはずです。

【対象】 18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ 須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail: s-shobo@city.suzaka.nagano.jp

※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。



【消防団歴】(主なもの)

- 昭和55年1月 入 団 長
- 平成2年1月 班 長
- 平成3年1月 副 部 長
- 平成4年1月 分 団 部 長
- 平成6年1月 副 分 団 長
- 平成8年1月 第 八 分 団 長
- (平成9年1月～12月 分 団 長 会 長)
- 平成16年4月～21年9月 副 団 長

【主な受賞歴など】

- 平成元年8月 長野県消防ラッパ吹奏大会に選手として出場し初優勝に貢献
- 平成9年2月 日本消防協会精績章受賞
- 平成18年2月 日本消防協会功績章受賞

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します
副団長中澤寛様(望岳台)が九月十八日逝去されました。(享年五十二歳)
哀悼の意を表しますとともに謹んでお悔やみ申しあげます。